



2020年10月7日、フランス・コロンブにて

## アルケマは初めてのグリーンボンドを発行

本日アルケマは、100%バイオベースである Rilsan<sup>®</sup> ポリアミド 11 の新しいシンガポールの生産拠点事業に特化した、初めてのグリーンボンド（債券）を発行しました。このグリーンボンドは総額 3 億ユーロ、6 年満期で利率は年 0.125%。需要は 10 倍を超えるオーバーサブスクリプション（需要超過）となっています。

アルケマは、特に軽量素材、新エネルギー、バイオベース製品の分野で革新的なソリューションを顧客に提供することにより、国連によって定義された持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する責任ある成長を生み出すことを目指しています。

この初めてのグリーンボンドの発行はアルケマの CSR ポリシーに沿ったもので、アルケマグループは有機的成長戦略の中心にあり、革新的で持続可能な重要プロジェクトであるシンガポールの世界規模の生産拠点事業への資金調達を行います。2022 年に操業開始予定のこの生産拠点は、生産業務の効率を最大化し、環境への影響を最小限に抑えるために最先端の技術で設計されており、100%バイオベースのモノマーと Rilsan<sup>®</sup> ポリアミド 11 の生産に特化しています。ひまし油から作られた Rilsan<sup>®</sup> ポリアミド 11 は、再生可能で持続可能な原料です。

Rilsan<sup>®</sup> ポリアミド 11 は、非常に厳しい条件の用途に優れた特性と性能で世界的に認められており、特にモビリティや新エネルギー、自動車・運輸市場、3D プリンティング、コンシューマー製品など、急成長している分野での持続可能なソリューションの開発に大きく貢献しています。

アルケマのサステナビリティ開発担当ヴァイスプレジデントの Virginie Delcroix は、「アルケマは、このグリーンボンドの発行によって、特殊材料の持続可能なソリューションの開発に貢献する機会を投資家に与えることができ、持続可能性と革新性の両方の面でのリーダーシップを確立します」と述べています。

アルケマのグリーンボンドレームワークは、主要な独立 ESG 評価機関 Vigeo Eiris が提供するセカンドパーティオピニオンに記載された国際資本市場協会（ICMA）のグリーンボンド原則に則っています。

このグリーンボンド発行に関する詳しい資料（英語）は、[アルケマのウェブサイト（英語）](#)をご覧ください。

アルケマは、材料科学に関する独自の専門的知識を基盤として、持続可能な新規材料に対して高まり続ける需要に対応する最高レベルの技術ポートフォリオを提供しています。アルケマグループは、2024 年までにスペシャリティ材料を専門とする企業になるという野心的な目標に基づき、当グループの売上高の約 80%を占めるスペシャリティ材料部門に特化した相補的で底堅く、革新性に優れた 3 つの事業部門（接着剤ソリューション、先端材料、コーティングソリューション）、ならびに競争力が高く、市場での地位を確立している中間体部門に組織を再編します。アルケマでは最先端の技術ソリューションを提供し、新エネルギー、水へのアクセス、リサイクル、都市化とモビリティを中心とする課題に対応するとともに、全ての利害関係者との持続的な対話を進めています。2019 年の全社年間売上高は約 87 億ユーロで、20,500 人の従業員が全世界の約 55 カ国で事業活動に従事しています。その他の最新情報についてはアルケマ株式会社のウェブサイト [www.arkema.co.jp](http://www.arkema.co.jp) をご覧ください。